

反逆児・無法者・戦争プロフェッショナル……
銀河系滅亡の危機に7人の宇宙戦士が集結した！

“BATTLE BEYOND THE STARS”

リチャード・トーマス/ロバート・ボーン

ジョン・サクソン/ジョージ・ベナード

ダーレン・フリューゲル/シビル・ダニング

音楽:ジェームス・ホーナー/脚本:ジョン・セイルズ

原作:ジョン・セイルズ & アン・ダイア

製作総指揮:ロジャー・コーマン

製作:エド・カーリン/監督:ジミー・T・ムラカミ

宇宙の7人

オライオン映画作品/ワーナー・ブラザース映画配給

BATTLE
BEYOND
THE STARS

An ORION PICTURES Release Thru WARNER BROS. A Warner Communications Company

宇宙の7人

★これは宇宙版《七人の侍》だ！

バラエティ、ダーランツ紙などのマスコミで評されている。おなじ「七人の侍」の舞台をメキシコに置きかえて大ヒットした西部劇に「荒野の七人」という快作があったが、この「宇宙の7人」は、更に舞台を広大無辺な宇宙にひろげ、最新の特撮技術で、スピーディーなアクションのスリルを数10倍にスケールアップしたところが一番の見どころだ。

★《スター・ウォーズ》以前の構想！

かつて、アメリカン・インターナショナル・ピクチャーズ(AIP)の総師として、フランシス・コッポラ、マーティン・スコセッシ、ピーター・ボグダノビッチといった現代アメリカ映画界を背負って立つ監督たちを初めて世に送り出したロジャー・コマンが、「七人の侍」の宇宙版を構想したのは、もう10年近くも昔のこと。まだ「スター・ウォーズ」が登場する以前であった。

常に時代を先取りする彼の感覚は、ここでも大いに発揮されていたわけだが、「スター・ウォーズ」をきっかけにして始まったスペース・アドベンチャー・ブームがひと区切りつくの待って、ようやく今コマンが宇宙SF大作「宇宙の7人」の製作に踏みきったのは、この映画をブームに便乗した後追い作品と見られたくないという、彼ならではの自負心があったからだ。

★監督は日系の超一流！

その自負心を裏切らぬため、コマンは製作準備に万全を期した。まず脚本。10年来脳裡にあたため続けてきた物語をシナリオ化する最適任者に彼はジョン・セールスを選んだ。AIPを解消してコマンが新たに設立したアメリカ映画界最大の独立プロ、ニュー・ワールド・ピクチャーズのために、すでに傑作「ピランハ」を発表している。

そして監督に選んだのはジミー・T・ムラカミ。今までアニメーター、プロデューサー、監督として短編やドキュメンタリーなどに才能を発揮してきた人で、イギリス・アカデミー賞やベニス国際映画祭で受賞したほか、アメリカのアカデミー賞の候補にもあげられたことのある俊英だが、長編劇映画の演出はこれがはじめて。

★製作費10億円の超大作！

ミニチュア特撮の成果に大きな役割を果たしたのは、CBSテレビの宇宙番組制作やアメリカ航空宇宙局のためのフィルム製作に活躍していたチャック・コムスキーで、彼はジョージ・ドッジやボブとデニス・スコタクといった特殊効果の撮影者だとか、ミニチュア・モデルのモーリー・シャロックら第1級の技術陣をこの映画に集めるのにも、なみなみならぬ力を発揮した。

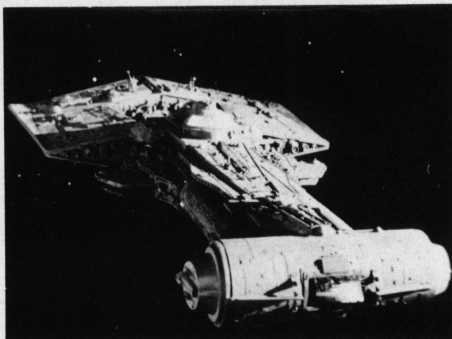
★ストーリー

平和な共存を願っていっさい武器を持たぬ惑星アキールに、全宇宙征服をめざす暴虐な星の支配者セイドアから恐怖の通告がとどく。服従せねば巨大な宇宙戦闘艦を出撃させて、ただちに壊滅するというのだ。

みじめな服従よりはいさぎよい死を——アキールの人々は挑戦を受けて立とうと決意し、戦いに協力してくれる人々と武器をさがし集める旅に、熱血の若者シャドを出発させた。

故郷の星を飛び立ったシャドの前に現われるのは、若く美しい女コンピューター・スペシャリスト、貨物運搬船のベテラン操縦士、自分の星をセイドアに全滅させられ復讐心に燃える傭兵、体は五つに分かれていても同一意識の同一行動をとるクローン人間、全銀河系から指名手配中のさているお尋ね者、戦争好きでグラマーな女パイロット…。

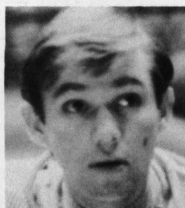
それぞれの動機からアキールへの協力を約束した彼らにシャドを加えた計7人は、戦争のしかたなどまるで知らない住民たちを特訓し、5つに1つしかない勝ち目にすがって、大挙押しよせてくるセイドアの軍団を迎え撃つこととなる。



★ズバリ！A級スターが揃った

出演者もコマン映画ならではのクセ者俳優たちが揃えられており、TVシリーズ「わが家は11人」や「ルーツII」、劇場映画「去年の夏」や「朝やけの空」でおなじみの若手リチャード・トーマスを筆頭に、これもTV「権力と陰謀」でエミー賞をとったほか「荒野の七人」「プリット」「レマゲン鉄橋」そして「復活の日」などにもベテランぶりを発揮していたロバート・ボーン、「ティファニーで朝食を」「西部開拓史」「大いなる野望」などのジョージ・ペーパード、「燃えよドラゴン」「出逢い」などのジョン・サクソン。

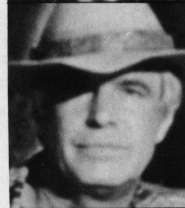
ヒロインを演じるダーラン・フリーゲルは、「アイズ」に続いてこれが二度目の映画出演だが、もうひとりのヒロインともいべき女戦士に扮するのがシビル・ダニングで、「メテオ」や「エアポート79/コンコルド」など、彼女はいま売れっ子中の売れっ子だ。



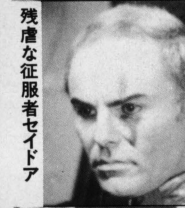
勇敢な若者シャド



宇宙のアウトロー・ゲルト 地球代表の凄じ奴



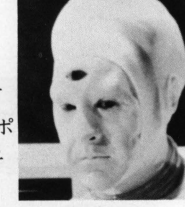
頭脳ヒカー・ナネリア



女戦士シ・エナスシ



トカゲ頭の傭兵ケイソン



クローン人間ネストール

4月4日(土)ロードショー

京橋下車テアトル東京地下

テアトル銀座

(561)7938

歌舞伎町コマ劇場斜め前

新宿 グランド・オデオン

(202)0141

東口池袋バルコ並び

池袋スカラ座

(971)1977

特別ご鑑賞券¥1200発売中

(一般¥1500円/大・高¥1300のところ)

●テアトル銀座

日曜 10:20 平日 12:10 2:20 4:30 6:40

●グランド・オデオン/池袋スカラ座

連日 11:10 1:15 3:20 5:25 7:30